



ライオンズクラブ国際協会 336-A地区 3R-2Z

八幡浜ライオンズクラブ会報



ライオンズクラブ会長 になって思うこと

会長 竹下雅博



昨年、6月の引継ぎ式を終え、7月からクラブ会長をスタートさせて頂きました。

当初、ゆっくりと進めて行けばいいかなと思っておりましたが、コロナ禍ゆえの難しさがあり、事業等もなかなか思い通りに事が運ばず、五役のメンバー、会員の皆様にご迷惑をおかけしている次第です。

そして、年が明けて2年ぶりに新年合同例会が開かれる予定でしたが、変異ウィルス感染拡大により中止を余儀なくされ、未だ通常例会さえ開く目処が立たない状況であります。

それでもライオンズクラブは何とか前を向いて歩み続けなければいけないですし、こういう時こそ我々ライオンが活躍できると思っております。

例えば、日頃続けている清掃活動やペットボトルキャップの回収作業、少年ホームとの交流事業等、従来通りにはいかないですが、時間短縮や規模縮小等、コロナ禍でもやれる事はあります。

私が思うに、ライオンズクラブとは地域社会の貢献により、より良く暮らしやすい社会を作るお手伝いをさせていただく会だと思えます。そして、クラブ会員及び全国全世界のクラブ員の親睦を深め人との繋がりを通じ、全世界の平和と安寧を願う会だと私は思っております。

混沌の続く現代社会ではありますが、時代の変革などを理由にせず、出来る事から少しずつでも着実に歩んでいきたいと思えます。

私の任期も残り半年になりました。どうぞ皆様ご協力のほどよろしくお願いいたします。

目次

ライオンズクラブ会長になって思うこと	会長 竹下 雅博
屋久島の地杉をつかった家づくり	氏間 貴則
ヨガ入門	大城 一郎
「あすもわ」とは何か?	木下 恵介
コロナとライオンズクラブ	上甲 英司
八幡浜の景色	山神 道夫
愛犬まっちゃんとの出会い	松本 昭子
八幡浜道の駅「みなと」内「アゴラマルシェ」誕生について	山本 誠

屋久島の地杉をつかった家づくり

氏間 貴則



八幡浜ライオンズメンバーの皆様には入会以来大変お世話になっております。

私が代表をつとめている昭和建設は、父が創業して今年で50年目を迎えます。地元八幡浜や近隣の市、町以外の松山市でも現在はSNS、HP等からお問合せいただき、新築、リノベーション、各種リフォーム事業を展開しております。今年度は受注も増え、事務所も利便性の高いドンキホーテ松山店の隣に移転することになりました。その事務所はライフスタイルショップとして、家具、雑貨販売、ネイルサロンと弊社が四国で唯一取扱いができる屋久島地杉をつかったショールームになり5月オープン予定です。屋久島地杉は屋久島町と全国のこだわりの家づくりをするメンバー28社が結んだ屋久島共同宣言で著名捺印した会社のみ取扱いができます。現在その運営をする「屋久島の森と暮らし協議会」では副会長も務めさせていただき、年に2回ほどは屋久島にいます。屋久島で育った木は安眠リラックス効果のある物質セドロールが内地材に比べ約20倍出ている内装材として使うことにより、自宅にいながら天然のラクゼーション効果が得られます。現在この木材の加工過程で発生するチップで、安眠効果のある枕を作成して、「ヤクシマクラ」とし

て愛媛ではあいテレビさんのテレビショッピングにて販売されています。もちろん弊社でも取り扱いをしていますので安眠したい方はお問合せください。金額は10、780円（税込）です。4月からは居住地も松山市になりますが、夜の例会が増えると思はじめ、参加しやすいメンバーも多いと思いますので来年度の五役のみなさま、ご検討していただけると嬉しいです。



屋久島町荒木町長と屋久島共同宣言調印式にて

屋久島地杉をつかったMUK U.Studio
(昭和建設 八幡浜事務所)



ヨガ入門

大城 一郎



新型コロナウイルスが、中国武漢から全世界へと広がりを見せ、志村けんの突然の死が報道された令和2年3月30日。
この日を境にこの病気に対する危険度の認識が日本人の中で格段に上がったのでした。

その最中、独りドライブを決め込んだ日曜日、ふと立ち寄った本屋で一冊の本が私を呼び止めました。
「YOGA図鑑」です。もともと体が柔らかいほうではあると自信を持っていた私ですが、加齢とともに体の節々が動きにくくなり、特に最近では脊柱管狭窄症により長く歩くことが困難な間欠性跛行にも悩まされるような始末です。よく昔は成長痛といつて骨が急速に伸びるとき痛みを感じることが話題となりましたが、今は身長が縮む時もやはり痛みが伴うんだと実感する日々です。

コロナ禍において、体調を改善し体幹を鍛え免疫力を高めるためにと神様のお導きが、この本との出会いでした。

それから、本に掲載されているポーズを見よう見まねで模倣しながら、時にはスマホでヨガのまりこ先生に指導を仰ぎつつ1年9か月、毎日コツコツ続けてきました。

ずいぶん体が柔らかくなりました。体重も7・8キロ減で体が軽くなったようです。脊柱管狭窄症も改善が

見られます。コロナの期間で「早寝・早起き・朝ごはん」いい習慣が身に付いてきました。朝早く起きて、体にスイッチを入れるために朝ヨガ（太陽礼拝）をしています。
継続は力なり、いつまで続けることができるかわかりませんが舞台でバレエダンサーのように踊れる日が来るまで、頑張りたいと思っています。



「あすもわ」とは何か？

木下 恵介



わたしが、神山地区公民館長を
拝命してもう、今年で6年目にな
る。今回の紙面を拝借して、この
6年、神山地区でやってきたこと
を、少々お知らせしたいと思う。

当初私がいだいていた公民館の
イメージを正直に言くと、高齢者
が多くてメンバーが固定化してい
るなどというネガティブなものだっ
た。しかし、当館は先輩諸氏の貢
献により利用頻度も高く、年齢層
も幅広く、ありがたいことに年間
延べ利用人数は2万人を超えて賑
わっている。

しかし、少々の不満があるとな
れば、部屋数の制約により利用は、
サークルや教室等の団体に限られ、
個人や少人数で気軽に立ち寄れる
ような地域カフェのような活動が
不足しているように思えた。敷地
内の駐車場や近くの公園内にテン
トを張って青空カフェなども考え
たが年中ひらくことはできず、頓
挫していた。

そんなとき、地区の郵便局の隣
にあったスーパードット土地建物
が市に寄贈されることになり、市
は物件の有効活用を公募すること
になった。「これはチャンス」と
すぐさま市に地域の為に活用した
いとの要望書を提出し地区公民館

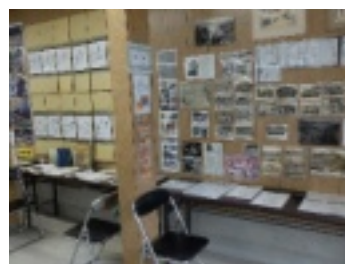
の分館扱いで市と契約することに
なり、令和2年1月15日に地域
活動交流拠点施設「あすもわ」と
して開設にこぎつけた。

あすもわは、地域の皆さんのカ
タリ場・タマリ場・アソビ場とし
てイコイの場に、ということをもッ
トーに、地域住民が集まれる場所
を目指している。

例えば、神山塾といって、地域
の歴史・文化・伝統・自然等を地
域の方々と学ぶ講座。県歴史文化
博物館学芸員などといった有識者
を招き年数回開催し、館内には昔
の写真や貴重な祭りの道具や資料
を展示しており懐かしんで見学や
昔話をしに来館する人も多い。

また、地元の作家の絵画作品展・
俳句、絵手紙、書道、陶器、手芸
等の作品展示を通じて、作品を囲
んで住民同士のコミュニケーション
向上を図っている。本館を賑
わせる子どもたちに向けては、卓
球台といった遊び道具を提供して、
気軽に遊びに来られる環境づくり
を目指した。コロナ禍で休館にな
るなど、さまざまな困難に直面し
たけれど、再開すれば老若男女が
集うようになり、地区の居場所と
して充実しているのではないかと
自負している。

これからは開館に合わせて申請
した地域おこし協力隊員が7月に
着任したので徐々に活動の幅を拡
げていきたいと考えている。具体
的には、生涯学習の拠点化、地域
的防災・福祉・健康活動等の利用、
美化活動などのボランティア等々
地域の課題解決にも取り組めば
と考えている。地域内外を問わず
様々な個人・団体・企業とも交流
を図りながらいろいろな情報を収
集・発信できる場になるように、
これからも尽力したい。住民のカ
タリ場・タマリ場・アソビ場とし
てイコイの場になるように。



コロナとライオンズクラブ

上申 英司



2か月ぶりにあった八幡浜ライオンズクラブ例会の後、ライオン誌を読みながら考えてみました。

アレクサンダー国際会長は自身のライオンズクラブ入会にあたって、クラブの活動が地域社会のニーズに応え変化をもたらしそうと取り組んでいるやり方に、そして人々の暮らしを改善しようとする姿に感銘を受け入会されたそうです。

コロナ禍で活動が儘ならぬ今こそ、各事業の進め方・新しい切り口での方法を委員会単位で模索するのもひとつです。

沖縄・八重山LCの識名安信氏はこう述べています。

「コロナ禍は社会に分断を、企業に明暗をもたらしました」

「公助や共助の恩恵を受けづらく、自助努力では立ち上がる事が困難な状況・人に着目して、これまで考えなかった奉仕のニーズを見極め、メンバー得意分野の活躍の機会を増やして活動の充実をはかるべきです」

問題点を探りそれを集約して事の本質を特定し、対処する。これは我々ライオンズメンバーが最も得意とするところのほ

ずです。

さあ、動きましょう。



八幡浜の景色

山神 道夫



私が八幡浜市に転居して丁度2年が経ちました。単身赴任生活の有り余る時間を日頃の運動不足解消と八幡浜をよく知りたいという興味を併せて散歩をはじめました。今回、私の好きな景色についてお話ししたいと思います。

【海が見える景色】

私は生まれてから高校卒業まで香川県の琴平町で過ごしました。香川県自体、海が珍しいものではありませんが、私の育った琴平町は内陸部にあり特別なことが無ければ海を見ることは無く、私にとっては特別な景色です。現在の社宅は徒歩3分もあれば海へ行くことができ、フェリーの発着場、みなと（道の駅）、魚市場、漁港がコンパクトに纏められた街を散歩コースとしていつでも飽きの来ない景色を堪能しています。

【街並み】

大通り沿いは整備が整い今風の街並みになっていますが、一本路地に入れば昭和時代の建物が建ち並び幼少時代を思い出させるノスタルジックな世界が広がっています。最近路地裏の建物の解体が進み街並みが変

わりつつありますが、個人的には近代的な街並みよりもレトロな街並みの方が好きでこの貴重な建物・風景を今後に残して欲しいと思います。以上2点、私の好きな八幡浜の景色についてお話ししました。

最後に、私の勤める香川銀行八幡浜支店は、令和4年1月4日をもって開設70周年を迎えました。県外銀行でありながら70年もの長きに渡り営業させていただけののも八幡浜の皆さんのお陰であります。今後も微力ながら地元八幡浜のためにできることを精一杯行い、八幡浜の皆さんとともに歩んでいきたいと思



愛犬まつちゃんとの出会い

松本 昭子



6年程前、動物愛護センターに行き、まつとの出会いがありました。宇和島で保護されたそうである年齢は分からず2才位だろうと言う事でした。出会った時は毛がボサボサで目も隠れ匂いもひどく、困ったな！これは庭で飼うしかないな！と思っていたのに今は一緒に寝ています。朝・夕、新川沿いを散歩するのが日課です。何よりも散歩が一番好きみたいです。

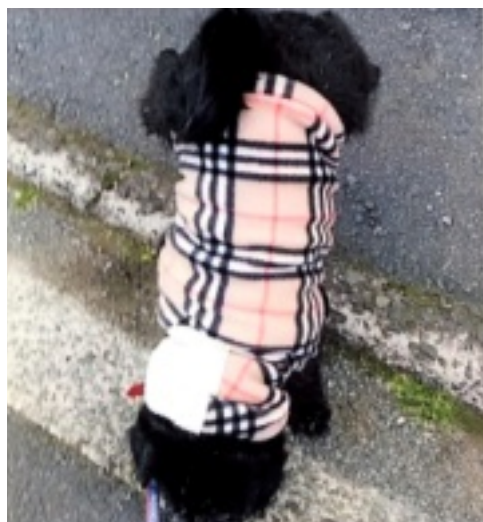
オシッコをする時、逆立ちをしてするので変わった犬だな？でもすごい特技だなと感心していました。2年程前、夕方散歩をしていると女の人が、「かわいい犬ですね！」と近づいて来られたので、色々自慢話をしていたら、後ろからカメラをかかえた男の人3人が来られ、「南海放送のもぎたてです。撮影させていただけませんか？」と言われたので、「イヤー！私お化粧もしてないしダメですよ！」と言うと「ワンちゃんを撮りたいのです！」と言う事です。後ろから私の話を聞いていたようで「特技を是非見たいです。散歩と一緒にさせて下さい！」と言われ、新川沿いを歩いたのですが逆立ちはしませんでした。どうしても逆立ちを見たいらしくて夜電話があり、「明日、夕方の散歩に同行させて

ください」と言う事で、2日間の同行となりました。その頃年をとったせいかな？太ったせいかな？逆立ちオシッコを散歩中2、3回しかしなくなっていたので、「逆立ちしなくてごめんなさいネ！」と言いながら歩いていると終わり頃にやつと逆立ちをしたので、ホッとしました。皆さんから人懐っこい性格の良いまつちゃんですネ！と言われ頭を撫でてもらうと力いっぱいしっぽを振り、愛想を振りまいていました。私も嬉しくて、まつに感謝・感謝です。でも散歩中ダメな事があります。温厚なまつが柴犬に出会えると、まつの方から吠えて怒りをあらわにします。以前何かあったのかもしれません。最近耳が遠くなり、人の声が聞こえにくくなりました。散歩中同級生に出会い、その話をすると「補聴器つけてやれや！」で大笑です。

コロナ禍の今、一人でいると気が滅入ると思いますが、『ブサかわいい』まつのお陰で癒され心が穏やかになります。人に喜んでもらう事で幸せを感じ、嫌味や意地悪をされても『ああこの人は幸せじゃないんだな！』と思うと腹も立ちません。

私は『自分がされて嫌な事は人にもしない』をモットーにしてい

ます。
「ありがとう」と言ってもらい「ありがとう」と言える日々に感謝です。ヨロヨロしながらも散歩を続け、まつの面倒を最後までみられるように体につけ元気でいたい！と思います。そしてコロナが早く収束し、今までの日常生活が出来るよう願っています。



八幡浜道の駅「みなと」内 「アゴラマルシェ」誕生について

山本 誠



2007年に八幡浜を元気にしたいという想いから「やわたはま未来塾」を立ち上げ、活動期間をへて、2011年1月18日に株式会社アゴラ誕生に至りました。実践して結果が出るまでやり続け、以下のようなたくさんの方の経験が生まれました。2022年、今年で15年目です。

① 小さな失敗の積み重ねが経験になり成功につながる。関わり合う人が多い事業は「不条理」と「矛盾の嵐」思い通りにはならない。

② 成功し続けることは出来ない。倫理観のない仕事は長続きしない。「道徳なき経済は犯罪であり経済なき道徳は寝言である」二宮尊徳の人生訓で取り組み。

③ 八幡浜をデザインする覚悟が必要条件整備が必要、リーダーは条件整備のできる人。イソップ物語「3人のレンガ職人」の話、経営感覚と使命感を持ち続ける人材の育成。

「損得優先からニーズに合った事業運営」の実例

インターネットで「天空の森」で検索。鹿児島県霧島市にあるリゾート『天空の森』はおよそ18万坪という広大な敷地

を持ちながら、施設は5棟のみ。田島健夫氏がつくる唯一無二のリゾート地。JR東日本の元副社長・新井良亮さん。たたき上げの副社長、機関区や運転手という現場から人事に移った人。そこから認められて副社長までになる。世の中の必要なこと（ニーズ）を考えて、いろいろな事業を開発していった。このような考え方を基盤に㈱アゴラは誕生。

㈱アゴラ（アゴラマルシェ）2013年4月オープン挨拶文の抜粋。

八幡浜は、温暖な気候と豊かな自然が育んだ農水産物に恵まれた港町。しかし、その反面、過疎化が進み、市の人口の40%が高齢者という厳しい現実も抱えています。私たちは生まれ育った八幡浜を、このまま衰退させたくない。八幡浜のよさを、もっとたくさんの人に知ってほしい。美味しいもの、古くから受け継がれてきたものを生かし、新しい風をおこしたい。そんな私たちの想いが、2013年の春、ついにカタチになりました。大地に育まれた食の恵みを提供し、人々が集い、おいしく食べ、ふれあい、心も満たす場。道の駅「みなと」内、産直・物販・飲食施設「アゴラマルシェ」は、新しい食文化の発信拠点として、人々が交流する場として、私たちは、八幡浜に新しい風をおこし続ける企業でありたいと思います。



会報No.223スポンサーリスト

(株)大任建設 鈴木 欽次郎 TEL 22-5111	愛媛新聞社 南予支社 野 依 伸 彦 TEL 22-5155
大 正 湯 高 橋 時 英 TEL 21-2033	(株)平田電気 (アトム電器八代店) 平 田 貴 久 TEL 23-1774
(株)フジ フジ八幡浜店 高 橋 隆 児 TEL 23-2110	(株)イーゾコーポレーション 福 岡 勝 也 TEL 0893-50-5901
竹下茶舗 竹 下 雅 博 TEL 24-2472	(株)オーシャンドリーム 松 浦 康 夫 TEL 24-7828
谷口商会 谷 口 幸 治 TEL 22-0066	(有)徳松 松 田 一 郎 TEL 23-2238
中津屋産業(有) 中川 精次郎 TEL 22-2831	ローソン八幡浜 白浜店 松 本 昭 子 TEL 22-0893
(株)丸西 西 村 和 弥 TEL 22-1504	宮本防水塗装(株) 宮 本 浩 TEL 22-5031
野本労務管理事務所 野本 修二郎 TEL 23-2677	(株)ステップコミュニケーション 山 本 誠 TEL 24-3121
大黒屋興産(株) 野 本 治 郎 TEL 22-5151	香川銀行 八幡浜支店兼大洲支店 山 神 道 夫 TEL 0893-24-2181



編集後記

八幡浜ライオンズ会員の皆さま、
今回の会報誌いかがだったでしょうか？
ネタがないからという苦肉の策で、エッセーを募集したところ、快く引き受けてくださった各ライオンの皆さまありがとうございました。

文章を書くというのは、自分の考えや思いを整理して伝えるという事で難しいように思えますが、実は楽しいことでもあるのです。久しぶりに書いてみて良かったというお声もいただきました。

次回もネタに困れば皆様に頼ります。ぜひ、我こそはという方はお知らせください(の)

お悔やみ

長きにわたり、八幡浜ライオンズクラブの活動にご尽力いただいた、元八幡浜市長の古見弘晏ライオンが3月16日ご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



発行 八幡浜ライオンズクラブ

企画・編集 情報PR委員会

例会 第二、第四木曜日 12:15～

会場 八幡浜商工会館5F大ホール

事務局 月～金 9:00～17:00

住所 八幡浜市北浜1-3-25 八幡浜商工会館4F

TEL 0894-24-3304 / FAX 0894-24-3314

メールアドレス ya.lions@hyper.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.yawatahama-lions-club.jp/>